

支社

岐阜市柳ヶ瀬通1-12
岐阜中日ビル8階
058(266)7576
FAX 058(262)6571

●東濃支局

多治見市精華町73
セントラルコーポ多治見306号
0572(23)7812

●西濃支局

大垣市本町2-6 スタッドI 602号
0584(75)1289

岐阜

根尾の郷土料理商品化

黒田建設「しめさば」と「炙りずし」



新規事業として商品化した「さば物語」

公共工事の発注が減少傾向にある建設業以外の新規事業に活路を見いだそうと、今春「さば物語事業部」を立ち上げた。

「さば物語」には、越前の根尾地区で収穫された岐阜県産米を使用。約3カ月間、試行錯誤を繰り返して、根尾の味の特長である甘さを再現した。製造は、料亭の

観光客ターゲットに 1日100本の販売目指す

黒田建設(本社本巣市根尾大井1003、黒田英嗣社長、電話0581・388・2288)は、さばずし「さば物語」を発売した。根尾地区の郷土料理として家庭に伝わるさばずしの味を再現した。新規事業として確立し、地域活性化につなげたい考え。2、3年後をめどに、日100本の販売を目指す。

(本巣・柴田晴日)

を語る。

「さば物語」には、

昇平楼(本巣市、大西祐智社長)に委託して

「しめさば」と「炙りずし」の2アイテムを商品化。販売価格は1本1575円(税込み)。現在、

本巣市内の道の駅「織部の里もとす」や岐阜市内の「旬の市」など、3店舗で販売。商店街などで開かれているイベントなどへも積極的に出店している。観光客を主なターゲットとしており、今後、駅やサービスイリアなどへの販路拡大を目指す。

黒田社長は「さばずしは他地域にもたくさんあるが、味には自信がある。根尾の町おこしにつながればと思っている。いずれは自社製造できるよう、商品の認知度向上に努めた」と話している。



多くの人でにぎわう 秋祭り会場

業況判断DI連続悪化 来期も予断許さず

西濃地域企業 7~9月期

【大垣】大垣信用金庫(西脇史雄理事長)がまとめた西濃地域企業の7~9月期景況調査によると、業況判断DI(「好転」企業割合)は4.6%悪化。悪化は2期連続となった。来期(10~12月期)

の業況判断DIはマイナス2.1で4.4%改善見込みだが、「日中関係の悪化が本格化する前(9月上旬)に行った調査であり、今回の影響を反映するとさらに落ち込むことも否定できない」(企業経営サポート室)と予

ら輸出関連株を中心に

竹田印が反発

▲25
▲850
▲142
▲135
▲13
▲30
▲150
▲110
▲700
▲95
証券